

スーパー暗記法 合格マニュアル 1級建築施工管理技士（再版）

正誤表

頁 / 箇所	誤	正
p.159 下 6 行 p.210 下の図 p.312 上 8 行	鉄筋の突合せ隙間は 3mm 以下とする。 タッピングビスの向きが上下逆になっています。(正しくは下から上)	鉄筋の突合せ隙間は 2mm 以下とする。
p.313 下 1 行 p.314 上 1 行 p.318 上 8 行	建設業は 28 種類～ 建設業法施行令の改正により、下請金額が変わっていますので、暗記法も変わります。 ・ 建築工事 → 4 500 万円以上 ・ 建築工事以外 → 3 000 万円以上	建設業は 29 種類～ (建設業法改正により) ・ 建築工事 → 6 000 万円以上 ・ 建築工事以外 → 4 000 万円以上
同上 12, 13 行	4 500 万円 (建築一式工事), 3 000 万円 (建築一式工事以外) 以上に～ ～1 件当たりの額が 5 000 万円 (建築一式工事), 2 500 万円 (建築一式工事以外)	6 000 万円 (建築一式工事), 4 000 万円 (建築一式工事以外) 以上に～ ～1 件当たりの額が 7 000 万円 (建築一式工事), 3 500 万円 (建築一式工事以外)
p.319 下 7 行 p.320 上 12, 13 行 同下 5 行 p.323 上 5 行 (改題)	～建設業者は、4 500 万円の下請 ～下請金額の総額が 3 000 万円 (建築一式工事は 4 500 万円) 以上の 総額が 4 500 万円以上のときは、 ～5,000 万円の下請	～建設業者は、 6 000 万円の下請 ～下請金額の総額が 4 000 万円 (建築一式工事は 6 000 万円) 以上の 総額が 6 000 万円以上のときは、 ～ 6,000 万円の下請
p.379 上 9 行 同上 10 行	① 4 500 万円以上 (建築一式工事) ② 3 000 万円以上 (建築一式工事以外の工事)	① 6 000 万円以上 (建築一式工事) ② 4 000 万円以上 (建築一式工事以外の工事)
同上 12 行	下請けに出す額が 4 500 万円 (3 000 万円)	下請けに出す額が 6 000 万円 (4 000 万円)
p.380 上 1 行 同上 9, 10 行	答 B, C 4 500 万円以上 (建築一式工事), 3 000 万円以上 (建築一式工事以外)	答 B 6 000 万円以上 (建築一式工事), 4 000 万円以上 (建築一式工事以外)
p.381 下 10 行	1 件当たりの額が 5 000 万円以上 (建築一式工事), 2 500 万円以上 (建築一式工事以外)	1 件当たりの額が 7 000 万円以上 (建築一式工事), 3 500 万円以上 (建築一式工事以外)
p.384 上 15, 16 行	～3 000 万円とする。ただし、建築工事業は、4 500 万円。	～ 4 000 万円とする。ただし、建築工事業は、 6 000 万円。
p.387 下 9 行 同下 8, 7 行	政令で定める金額は、3 000 万円とする。 ～建設工事が建築一式工事である場合においては、4 500 万円とする。	政令で定める金額は、 4 000 万円とする。 ～建設工事が建築一式工事である場合においては、 6 000 万円とする。
p.389 上 8, 9 行	一件の請負代金の額が 2 500 万円 (当該建設工事が建築一式工事である場合は 5 000 万円)	一件の請負代金の額が 3 500 万円 (当該建設工事が建築一式工事である場合は 7 000 万円)
p.390, 391 表	表の最後に「解体工事」	「解体工事業」を追加。

お詫びして訂正いたします。